

広

報

誌

小郡市消防団



2013.11.9発行 第20号

消すまでは 心の警報 ONのまま

平成25年度 全国統一防火標語

※小郡市消防団では、秋季全国火災予防運動実施期間に合わせ、11月9日付けで広報誌を発行しております。



この街の「笑顔」を

守りたいから。

小郡市では、昨年1年間で大小26件の火災が発生しました。南北に広い小郡市で火災現場に素早く駆けつけ消火活動を行うためには、三井消防署の本署と出張所に加え、市内8箇所に点在する消防団の力も必要です。消防署が火災による119番通報を受けると、無線やメールで消防団員へ火災発生の一報が入ります。それを受け、消防団員は現場へ急行します。

私たち消防団員は、普段はそれぞれに仕事や家庭を持つ一般市民です。それでも、この小郡市の安全と安心に少しでも尽力したい。家族や地域住民の笑顔を守りたい。そのために火災や水害に備えた訓練を行い、いざという時は自宅（時には仕事場）から現場に急行し活動します。今年の誌面では、そんな私たち消防団の存在意義について考えてみたいと思います。



伝えたい!!

消防団の魅力

消防団員に聞きました！あなたにとって消防団の魅力とは？



本部分団
土山 寿美さん



第1分団
田中 孝旺さん



第2分団
野田 敬義さん



第3分団
田竈 裕介さん



第4分団
中原 幸一郎さん



第5分団
河原 徹さん



第6分団
森 亮太さん



第7分団
三原 鉄平さん



本部
江頭 剛さん

地域の防災ボランティア 消防団員

消防団の今

地域社会や就業構造、そして国民意識の大きな変化に伴い、新たに団員として参加する若年層が減少しています。

団員の年齢構成はかつて、比較的若年層が中心でしたが、近年30歳未満の団員の割合が減少する一方、40代や50代以上の割合が増加するなど、高齢化が進行しています。

私たち消防団員は、各種訓練はもちろんのこと、地域のみなさんに対する訓練指導や災害箇所の把握、年末警戒や放火防止パトロール及び地域のお祭りへの参加など、いろいろな活動を実施しています。火災現場での消火活動、避難誘導、水防活動及び警戒区域の設定など、主に常備消防と協力した活動を実施しています。



第1回福岡県女性消防操法大会に出場

9月8日、小郡市女性消防隊が、福津市の福岡県消防学校で開催された福岡県女性消防操法大会に出場しました。

大会で行われた軽可搬ポンプ操法は、操法開始から標的を落とすまでの時間と動作の安全性・確実性を競い合うもので、6人が1チームとなり、水槽から軽可搬ポンプを使用して取水し、ホースの延長を行い、標的のボール2個を落とす競技です。

大勢の人が見守る中で操法に挑み、指揮者の川野裕佳子副分団長が優秀番員賞を受賞することができました。



指揮者 川野裕佳子 1番員 後藤 理恵 2番員 土山 寿美
3番員 門司 直美 4番員 澁田 純子 補充員 坂下恵美子

消防団はこんな活動を行っています



出初式



入退団式



教養訓練



水防訓練



消防自動車ポンプ操法



救命講習



軽可搬ポンプ操法



夜間防衛訓練



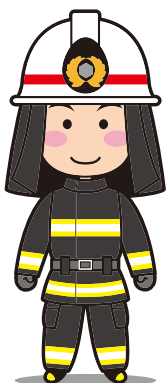
年末夜警

大規模災害等への対応を意識した消防団活動へ

大都市の消防団では、阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験から、常備消防との役割分担も念頭に置いた上で、「大規模災害を想定した防災訓練」を意識した活動に取り組みはじめています。

大規模災害等の発生のおそれは、大都市部に限られません。小郡市消防団においても大規模災害等への対応を意識するとともに、三井消防署と連携を図りながら消防防災活動を進めていきます。

消防団員募集!



消防団員は、市民の方々が参加する、
まちを守り、心をつなぐ
自主的な防災のためのボランティアです。



入団するには、まずはお問合せ下さい。

問合せ先 小郡市役所 協働推進課 ☎72-2111(内線253)

小郡市消防団のホームページを開設しました <http://shobo.ogori.net>